
クリエイティブ飛鳥
未来への風プロジェクト
Creative asuka. "KAZE" project to the future

2017年度 実施報告書

クリエイティブ飛鳥 未来への風プロジェクト Creative asuka. "KAZE" project to the future



「第4回明日香の匠展」と「飛鳥・音の風景」に寄せて

飛鳥京の置かれた飛鳥の地には、大陸からの思想や日本列島各地から質の高い文物が集結し、華やかであろう。そうした都ぶりの漂いを遺すこの明日香の地から現代の芸術文化を発信しよう、2014年度に第1回明日香の匠展(美術展)と飛鳥・音の風景(音楽会)が開催された。

そして第4回目となる飛鳥・音の風景が、1月21日中央公民館ホールで開催された。過去2回に引き続き今回もご協力いただいた天理シティーオーケストラと4名のオペラ歌手及びピアニストの登場で、「観て、知って、感じて」とされた演出が会場を沸かせた。

その後、2月24日から3月4日まで、第4回明日香の匠展(奈良県立万葉文化館)が開催された。明日香村在住作家とゆかりのある村外作家の応募者から33名が選出された。その選出にあたって、奈良県立万葉文化館館長の稲村和子氏、奈良県立美術館学芸係長の稲畑ルミ子氏、村内から上山好庸氏(写真家)、稲垣小燕氏(書家)にもご協力いただいた。

今展の特別出品作家として、2016年度飛鳥アートヴィレージ参加作家の楠本衣里佳(大阪府出身)、橋川昇平(奈良県出身)、望月めぐみ(神奈川県出身)の若いアーティストに出展いただいた。全国公募から選出された3名は、明日香村で得たイメージを作品にして犬養万葉記念館ですでに発表されているが、その後、更に進化させた作品の出展であった。その背後にプログラムコーディネーター山中俊広氏の的確な指導があったと思う。こうした若い外からの目で制作された作品と村内美術家の作品との共催は、鑑賞者を満足させる内容となっていた。

明日香村の事業として企画された飛鳥アートヴィレージ展も第5回展を迎え、その取り組み方に色々な変化がみられる。第4回目となった美術展と音楽会に関しても自己点検の時を迎えているのではないかな。

「明日香村から、明日香村の美術家・音楽家による芸術文化の発信を」と、された発足当初の考え方と異なり、その発信は村外の人たちに比重がかり村民への発信がなされていないとの指摘がある。「明日香の匠展」「飛鳥・音の風景」に対して、今後のあり方について検討される必要があると思われる。

この度の企画に対してご協力いただいた各関係機関や多くの関係者に厚くお礼申し上げます。

2018年3月

「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会

実行委員長 鳥頭尾 精



2017年度 事業概要

■ コンセプト

明日香村の“プリミティブな魅力”。それは、日本創成の地として、あらゆるモノやコトを産み出す創造性あふれるエネルギーが、今もこの地に眠っていることである。営々と受け継がれてきた“大らかな風土”と“しなやかな精神性”は、日本の明るい未来を築いてゆく上で大いに有効性を発揮するものと期待される。

そこで、明日香村の地場から発せられるこの潜在的なエネルギーを表す言葉「クリエイティブ（創造性あふれる）」をキーワードに、

(1) 日本における明日香村の果たすべき(他の地域にはできない)役割を明確にし、

(2) 明日香村から全国さらには世界へと情報発信機能を高め、

(3) 次世代の日本を担う有能な人材の育成に寄与しながら、

(4) 未来志向型の村づくりを実現するために、

長期的視野に立って「Creative飛鳥・未来への風プロジェクト」を推進するものとする。

■ 事業目標

「明日香村歴史文化基本構想」に謳われる「明日香村の歴史文化が有するポテンシャル」に着目しながら、村にゆかりのある作家および音楽家に光を当てた事業を実施し、クリエイティブ村としての機運の醸成を目指す。

■ 実施体制

主催：「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会

後援：明日香村、一般財団法人明日香村地域振興公社、公益財団法人古都飛鳥保存財団、国土交通省近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務所

■ 実行委員会について

・構成メンバー

実行委員長 烏頭尾 精(日本画家・京都教育大学名誉教授)

副実行委員長 脇田 宗孝(陶芸家・奈良教育大学名誉教授)

実行委員 阪本 薫(明日香村文化協会会長)

実行委員 松岡 剛宏(バリトン歌手・明日香村社会教育委員)

実行委員 西川 逸人(奈良県立万葉文化館副館長)

実行委員 田中 祐二(明日香村教育委員会教育長)

・事務局／明日香村教育委員会内(〒634-0141奈良県高市郡明日香村川原91-1)

・実行委員会の開催

第1回 2017年 5月23日(火) 10:00～ 明日香村中央公民館会議室

第2回 2017年 6月21日(水) 13:00～ 明日香村中央公民館会議室

第3回 2017年 7月19日(水) 9:00～ 明日香村中央公民館会議室

第4回 2018年 1月19日(金) 9:30～ 明日香村中央公民館研修室

■ 実施概要

I) 飛鳥アートヴィレッジ

内容：公募により選抜された将来性のある若手アーティストが、明日香村の自然や歴史、風土からインスピレーションを受け従来の発想や枠組みにとらわれない作品を制作・発表(展示)するという一連の芸術創作支援プログラム。芸術活動を通じて発見される新しい明日香村の魅力・価値を広く発信することも目的としている。

《公募概要》

募集期間：2017年5月1日(月)～6月16日(金)

募集基準：・芸術の分野で活動する20歳以上40歳未満の方

- ・飛鳥（明日香村）の様々な要素を主題または題材とした作品を制作・発表できること
- ・明日香村民との交流事業を、制作準備または作品展示期間に必ず実施できること
- ・個人のSNS、ブログなどで、作品制作の活動や展覧会の情報発信に積極的に協力できること

選考方法：提出書類をもとに、選考委員により選出

選考委員：烏頭尾 精(日本画家・京都教育大学名誉教授)

脇田 宗孝(陶芸家・奈良教育大学名誉教授)

山中 俊広(プログラム・コーディネーター/インディペンデント・キュレーター)

《参加アーティスト(選考結果)》

藤野 裕美子

町田 薫映子

山本 紗佑里

作品制作期間：2017年7月中旬～11月上旬

※期間中、明日香村に滞在または訪問し、作品の題材のリサーチや作品制作を順次実施。

《成果発表／作品展》

名称：作品展「ほどけたもの語りとの邂逅かけこ」

期間：2017年11月18日(土)～26日(日) ※休館日：11月22日(水)

10:00～17:00(受付／16:30まで)

会場：南都明日香ふれあいセンター 犬養万葉記念館(奈良県高市郡明日香村岡1150)

入場料：無料

入場者数：612名

《関連イベント》

名称：藤野裕美子 ワークショップ「日常の発見を手のひらの日本画に」

日時：2017年11月18日(土)13:00～16:00

会場：南都明日香ふれあいセンター 犬養万葉記念館(奈良県高市郡明日香村岡1150)

対象：小学生以上

参加費：無料(材料・道具は主催者が用意)

プログラム・コーディネート：山中 俊広

II)「明日香の匠」展

期間：2018年2月24日(土)～3月4日(日)※但し、26日(月)は休館

10:00～17:30 (受付/17:00まで)

会場：奈良県立万葉文化館 1F 企画展示室(奈良県高市郡明日香村飛鳥10)

内容：明日香村を拠点に活動する作家33名(公募により選考)と特別出品作家3名による作品展を開催。

特別出品作家：楠本 衣里佳 (2016年度 飛鳥アートヴィレッジ参加アーティスト)

橋川 昇平 (2016年度 飛鳥アートヴィレッジ参加アーティスト)

望月 めぐみ (2016年度 飛鳥アートヴィレッジ参加アーティスト)

出品作家：鳥頭尾 精(日本画)、鳥頭尾 忠子(日本画)、東 紀子(日本画)、生駒 三恵(洋画)、勝川 喜昭(洋画)、勝川 京子(洋画)、川本 恵(洋画)、中島 忍(洋画)、上田 孝文(木版画)、渡会 美枝子(詩書画)、木野村 由比子(陶芸)、鈴木 乃り子(陶芸)、谷口 美佐子(陶芸)、脇田 宗孝(陶芸)、小田 珠生(ガラス造形)、高橋 直樹(ガラス造形)、安田 麻里(ガラス造形)、島田 清(面彫)、折坂 諭(ギター製作)、岡橋 久代(彫刻)、上田 由美子(写真)、上山 好庸(写真)、梅田 耕吉(写真)、岡本 路子(写真)、白水 泉(写真)、森本 富雄(写真)、柳 敏明(写真)、稲垣 小燕(書芸)、垣内 飛翠(書芸)、境山 正甫(書芸)、鈴木 葩光(書芸)、中井 功子(書芸)、中川 愛子(紙画)

展示・構成：山中 俊広(インディペンデント・キュレーター)

入場料：無料

入場者数：1,740名



III)「飛鳥・音の風景」

日時：2018年1月21日(日) 14:30～[開場・楽器体験コーナー 13:30～]

会場：明日香村中央公民館 1Fホール(奈良県高市郡明日香村川原91-1)

内容：明日香村在住の音楽家がプロデュースする音楽事業を通して、村民に上質な音楽を提供する。

出演：【第1部】『オペラってなあに?』 オペラの演奏を鑑賞しながら、演出家・篠川直子氏による「なるほど講座」

篠川 直子(進行)

木澤 佐江子(ソプラノ)

橋 知加子(アルト)

小餅谷 哲男(テノール)

松岡 剛宏(バリトン)

殿護 弘美(ピアニスト)

【第2部】『みんなで気軽にクラシック』

指揮：安野 英之

管弦楽：天理シティーオーケストラ

プロデュース：松岡 剛宏(バリトン歌手・大阪音楽大学演奏員)

演出：篠川 直子(演出家・舞台監督)

音響・映像：森田 昌志

舞台スタッフ：佐々木 彩乃

入場料：無料

入場者数：220名



日本の起源「美」を拓く。

飛鳥アートヴィレッジ

5年目の「アートヴィレッジ」を終えて

区切りとなる5年目の開催となった2017年度の「飛鳥アートヴィレッジ」は、公募で選出した3名のアーティストが明日香村と地元村民への綿密なりサーチを重ね、それぞれの「あすか」の視点を反映させた作品を制作・発表しました。

全員女性で構成された今年度の3名のアーティストは、空き家や村民のお墓、祀りごとの風習など、明日香の人々の暮らしが痕跡として残されている場に共通して関心を寄せ、それらを作品の着想としました。「日常」とは、意識せずとも常に身近にあるものですが、それが作品に置き換わることによって、アーティストと村民それぞれに「再発見」の刺激と恩恵が得られることを、改めて強く実感させられた今年度のプログラムとなりました。また、犬養万葉記念館にて11月に開催した展覧会でも、オープニングセレモニーのパフォーマンスや、村内リサーチのプロセスが垣間見られる各アーティストのスケッチやメモ書きの展示など、新たな発表方法が実現できたことも大きな収穫でした。彼女たちが村民の日常から見落とされがちな「あすか」の視点や感覚を拾い上げる行為と、作品そのものを制作する行為が等価になされたこと。これが今年度の大きな特色であったように思います。

これまで本プログラムに参加したアーティストは、5年で20名を超えましたが、「明日香の匠展」や「光の回廊」の参加をはじめ、個々の草の根的な村民との交流まで、多くのアーティストが本プログラム参加以後も明日香村とのつながりを持ち続けています。また、古代や里山の環境など、一般的な「あすか」のイメージ以外に、村民の身近にある「あすか」の魅力的なイメージを掘り起こす場として、本プログラムは定着しつつあります。アーティストと村民が対等な関係で「あすか」の諸要素に新鮮さを持って触れあいながら、それぞれに必要なかつ関心のある事柄に理解と思索を深めていくことで、今後も健全なアートプロジェクトとして継続できればと思います。

山中 俊広(2017年度 プログラム・コーディネーター／インディペンデント・キュレーター)



「オープニングイベント ライブパフォーマンス」

ダンス：町田 藻映子（飛鳥アートヴィレッジ 参加アーティスト）

ピアノ演奏：岡本 三千代（犬養万葉記念館 館長）

衣装製作：山本 紗佑里（飛鳥アートヴィレッジ 参加アーティスト）

南都明日香ふれあいセンター

犬養万葉記念館

2017.11.18 [SAT] - 26 [SUN]





藤野 裕美子

FUJINO Yumiko

profile

1988 滋賀県生まれ
 2011 京都精華大学 芸術学部造形学科 日本画専攻 卒業
 2013 京都精華大学大学院 芸術研究科 修士課程日本画専攻 修了

〈主な展覧会歴〉

2010 「第28回上野の森美術館大賞展」上野の森美術館（東京）
 [10～12年 入選]
 2012 「平成24年度 平和堂財団新進芸術家助成」芸術奨励賞
 フランス、ブルターニュ地方にてアーティスト・イン・レジデンスに参加
 2013 個展「肩の情」中之島デザインミュージアム de sign de > (大阪)
 「瀬戸内国際芸術祭 2013 高見島プロジェクト」高見島・中塚邸（香川）
 2015 「Itinérances Rétrospective «l'Art dans les Cités»」
 Le centre d'art Les 3 CHA (フランス)
 個展「背面の景色」尾賀商店 倉庫（滋賀）



「暮らしと様相」 岩絵具、水干絵具、箔、麻紙、木製パネル、木製枠 協力：松田建具

私は人の暮らしの痕跡や、生活の様相が伺える箇所を描いて作品にしています。

明日香村で私は、かつて誰かが生活を送っていた空き家や、
 今も生活を営まれている民家を何件か取材させていただきました。

薄暗い室内には、煤や埃をかぶった家具や生活用品が置かれ、
 窓の外には今にも飲み込まれそうなほど、鬱蒼と生い茂る草木が目飛び込みました。

誰かが生活の中で施した設え、家具や家財に残るひずみやしみは、
 そこにあった暮らしや、一個人の他愛も無いエピソードがいくつも刻まれていました。

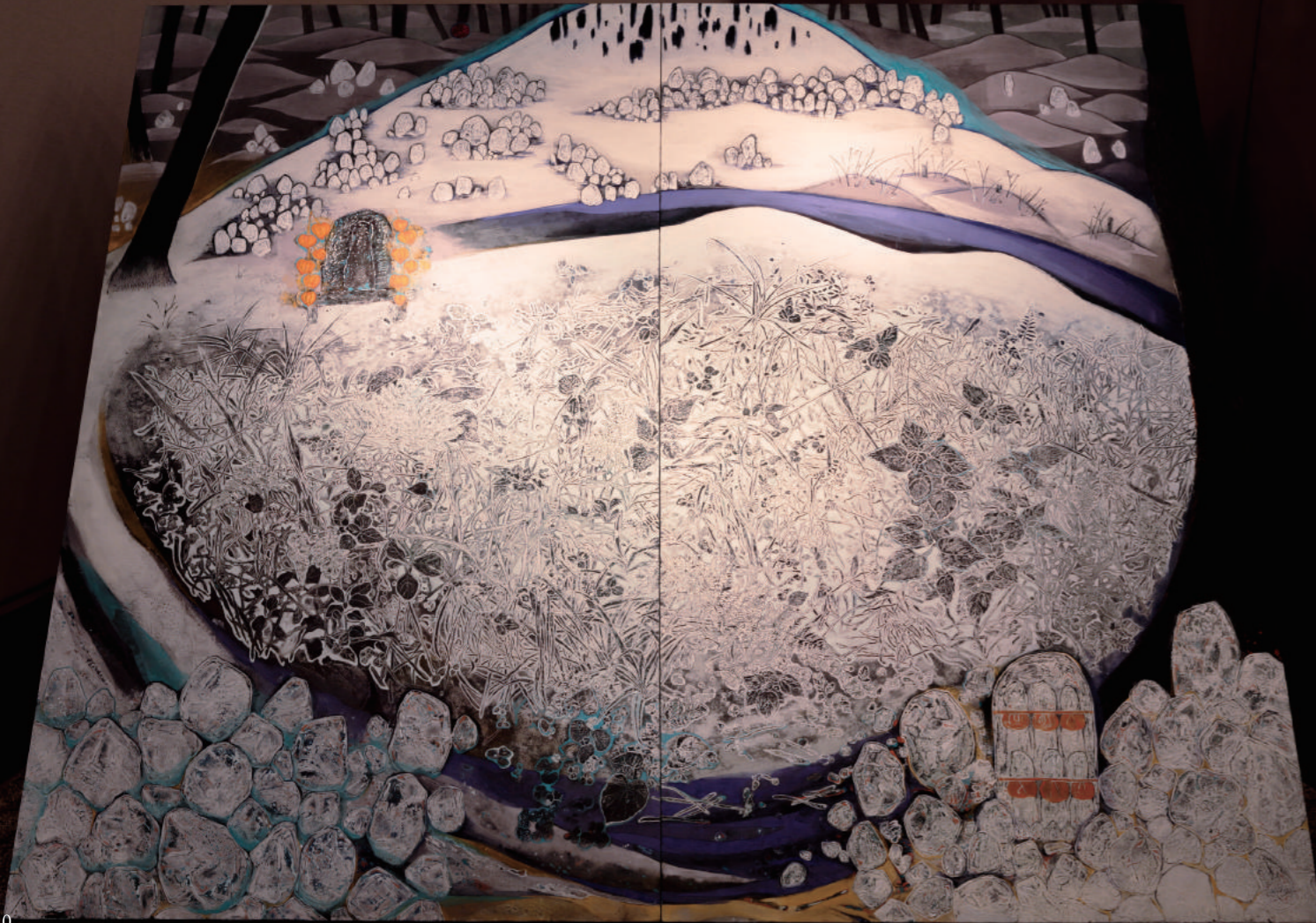
そこに住み、暮らしている人にしかわからないようなことを探るように、
 明日香村に点在していた暮らしの様相を、ひとつずつ集め作品に落とし込みました。

「飛鳥アートヴィレッジ」関連イベント

「日常の発見を手のひらの日本画に」

2017.11.18 [SAT] 13:00-16:00





「鬼灯は明かりで、提灯の代わり」 顔料、岩絵の具、墨、膠、アルミ箔、麻紙

「大事なものは全て土の下に埋まっている」

明日香というのはそういう土地だと取材の初日に役場の職員の方がおっしゃられ、それは今回の取材・制作において重要な位置を占めたように思う。

明日香村には、土葬をしていた頃の墓地がまだ残っているところがある。既に綺麗に整備された墓地もあるが、私が訪れた地区ではどこも共通して、遺骨は骨壺には収めず、直接土に埋めるとのことだった。火葬になっても尚「土に還る」という感覚がそこにはあるような気がした。

お墓や葬儀について語る村の人々の姿勢には、静謐な悲しみの中に、生き生きとした生活感がありそのコントラストはとてモビッドで死者の存在をどこか整然と受け止める、堂々とした身構えを感じさせる。

しかし同時に、確かに深い悲しみを抱えてもいる。お墓にまつわる習慣には、生きている人の死者に対する不思議な距離感がある。

「命は大切だ」とそんな当たり前のことを、本当の当たり前としてはっきり語ることが難しいと感じるようになったのはいつからだったか。私が、なのか。世の中が、なのか。そういうことはいっぱいある。

お墓の話題は嫌がられるものかと思いきや皆、意外にも生き生きと、そして真摯に語り始め、更にそのような機会が持てたことを喜んでくださる。そういう時間には、人の穏やかでまっすぐな優しさが確かにありその想いが広く地面に染み込んでいる気がした。当たり前のことを、本当の当たり前にしていくために誰かとお墓の話をし合うというのは決して悪くないなと思った。



町田 藻映子

MACHIDA Moeko

profile

- 1989 愛知県生まれ
- 2013 京都市立芸術大学 美術学部 日本画専攻 卒業
- 2015 京都市立芸術大学大学院 美術研究科 修士課程絵画専攻 修了

〈主な展覧会歴〉

- 2014 アーティスト・イン・レジデンス「Feldstärke International 2014」PACT Zollverein (ドイツ)、montevideo (フランス)、京都芸術センター
- 2015 「京都市立芸術大学作品展」京都市美術館 [奨励賞] 舞踏家・佐藤野乃子とダンスユニットMoNoKoを結成。ソロでもパフォーマンス、ダンサー活動を開始。
- 2016 個展「何時か何処か今の此処」ギャラリー知 (京都) 「(コウノエ)プロジェクト 襖絵制作」熊野市神川町神上集落 (三重) 個展「遠いこと懂れ」Time Engineer's Room (東京)
- 2017 個展「Moeko Machida Solo Show」Marsiglione Arts Gallery (イタリア)



山本 紗佑里

YAMAMOTO Sayuri

profile

1994 三重県生まれ
2017 京都市立芸術大学 美術学部 染織専攻 卒業
現在 京都市立芸術大学大学院 美術研究科 修士課程工芸専攻 在籍

〈主な展覧会歴〉

2013 「squat」梅小路公園（京都）
2015 「染織専攻3・4回生合同展」京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA
「jumble party」京都市立芸術大学小ギャラリー
2016 「気化したユートピア」ギャラリーマロニエ（京都）
「点Pの憶測方法」Art Spot Korin（京都）

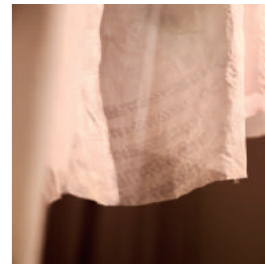
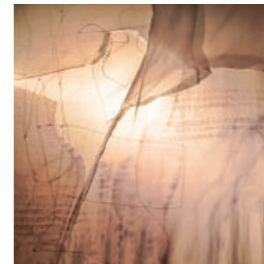
「まだみぬ虚像のゆびさき」

綿布、反応染料、顔料、ワイヤー / シルクスクリーン、刷毛染め

見えなくなったものの行き先が気になってしまう。

水の痕跡と、わたしが見聞きしメモした図像を、染料で布にのせ、
私個人の想像する見聞きした話の延長を、顔料で布に影のみ残した。
色と影が溶けあうゆらいだかげの形は見えない人々の群像とした。

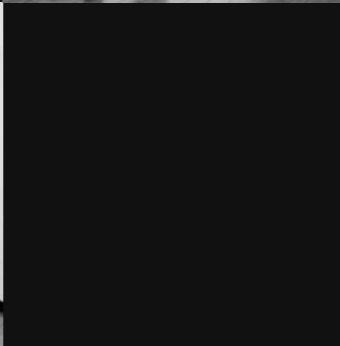
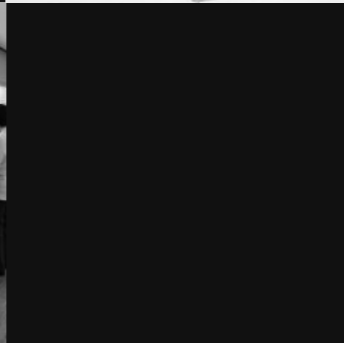
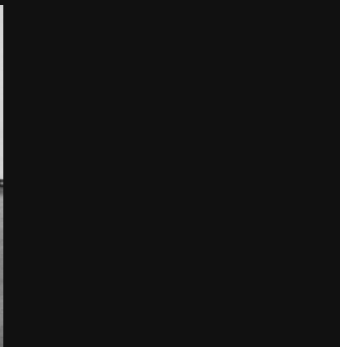
見えなくなったとしても、ここにはものとして捨ておけない、
この土地に存在する無数のものに思いを馳せた。



「明日香の匠」展

奈良県立万葉文化館 1F 企画展示室

2018.2.24 [SAT] - 3.4 [SUN]





めぐりつるもの



和紙、岩絵具、水干絵具、墨、パステル

明日香の地に立つと昔から今に至るまで人や様々な生き物が営みを続けてきたのだと感じる。雪が降り積もるように見えないたくさんの命が、時間が土地に降り積もっている。昨年明日香で取材を重ねているときに、美しい空を、ひらけた景色を見ていたらそんな全てのものを見守ってきたこの地に神様がいたと思った。

今年の夏、息子を出産した。お腹の中に暖かな命を感じながら、無事に生まれてくる日を祈り続けることしか出来ない日々だった。

神様とお腹の中の命を混ぜ込んだ作品を作りたいと思った。

特別出品作家

飛鳥アートヴィレッジ 2016年度参加アーティスト

楠本 衣里佳

KUSUMOTO Erika

profile

1988 大阪府生まれ

2013 京都精華大学大学院 芸術研究科日本画コース博士前期課程 修了

〈主な展覧会歴〉

2012 アーティスト・イン・レジデンス「Petites Cités de Caractère
Cités d' Art de Bretagne」(ブルターニュ/フランス)

2013 「瀬戸内国際芸術祭 2013」高見島(香川)

2014 個展「夜があつまれば」芝田町画廊(大阪)
「木津川アート2014」木津川市・徳念寺蔵(京都)

2015 「日本画の楽しみ-新しい表現への挑戦-」香美市立美術館(高知)
個展「いつもの道から」ギャラリー 恵風(京都)

2016 「信濃の国原始感覚美術祭」千年の森自然学校・北ヤマト園(長野)
「Kaksi näkökulmaa/眼差しから」Galleria K(フィンランド)



虚構器官14



映像インスタレーション

最近、人工知能がぼくらを支配するようになるなんて話を聞きます。それがどこまで本当のことになるのか、ぼくにはわからないけれど、どうも人は人が作ったものに振り回されてしまうようです。人工知能に限らず、たとえば、言葉であったり、宗教であったり、お金であったり。それがいつかどこかで誰かが作ったに違いないけれど、それがいつ、どこの、誰かかはわからない。そして、人の手を離れて予想外の結果を生み出したり、新しい解釈が生まれたりする。ぼくらは人から生まれた詳しくわからないものを大事にしたり、恐れられたりするようにできているようです。

長い時間を超えて用途がわからなくなってしまった遺跡であったり、語り継がれてきた物語もきっと同じように。

この作品では人の動きの影を取り込んで映像を作ります。影には肉体がなくて形しかありません。人の影を見てもその人がどんな人かは詳しくはわからない。人が作ったものと人の関係を単純化して考えるためにこの作品を作りました。

特別出品作家

飛鳥アートヴィレッジ 2016年度参加アーティスト

橋川 昇平

HASHIKAWA Shohei

profile

1983 奈良県生まれ
 2010 大阪美術専門学校 美術・工芸学科 卒業
 2012 大阪芸術大学 美術学科 卒業

〈主な展覧会歴〉

2014 個展「虚構器官 橋川昇平展」ギャラリー檜plus(東京)
 2015 個展「虚構器官 橋川昇平展」ギャラリー檜plus(東京)
 「奈良・町家の芸術祭 はならあと2015」今井まちや館(奈良)
 2016 個展「虚構器官 橋川昇平展」ギャラリー檜e・F(東京)
 2017 個展「虚構器官 橋川昇平展」ギャラリー16(京都)



特別出品作家

飛鳥アートヴィレッジ 2016年度参加アーティスト

望月 めぐみ

MOCHIZUKI Megumi

profile

1978 神奈川県生まれ
2003 東京学芸大学 教育学部 D類美術工芸専攻 中退

〈主な展覧会歴〉

2014 「EWAAC2014入選作品展」La Galleria Pall Mall (イギリス)
2015 「日本文化月間・切り絵作品展」The City Art Gallery Plovdiv (ブルガリア)
2016 個展「さくら満ちて」岩倉実相院門跡 (京都)
2017 「飛鳥光の回廊2017」飛鳥寺 (奈良)
個展「光ヲ彫ル」白沙村荘 橋本関雪記念館 (京都)

より あい 縫合

長さ6メートルの合成紙をナイフで刻み、制作しています。題材は、明日香村に伝わる伝統行事・伝承芸能に取材して出会った龍神です。

長く農業が営まれてきた明日香村では水源がとても大切にされており、水神である龍が各所に祀られ、雨乞いの南無天踊りにも稲藁の龍が登場します。また、男綱女綱のカンジョウ掛けや、八雲琴の白と青緑で天地を表す二色の弦といったように、様々な事象に「陰陽」が見え隠れします。

ここから二頭の龍が縄のように縫り合うイメージが膨らみ、下絵を描きました。龍の通ったあとに、雲が湧き雨が降り、稲穂が実る様を光の粒で表現しています。

行事や芸能を通して脈々と受け継がれてきた祈りの心に触れ、誕生した作品です。



切り絵、和紙
表装協力：株式会社
岡墨光堂

切り絵掛軸春図

野に芽吹く菜を摘み、春の到来を祝う行事、春菜摘み。
万葉集冒頭歌にも歌われています。

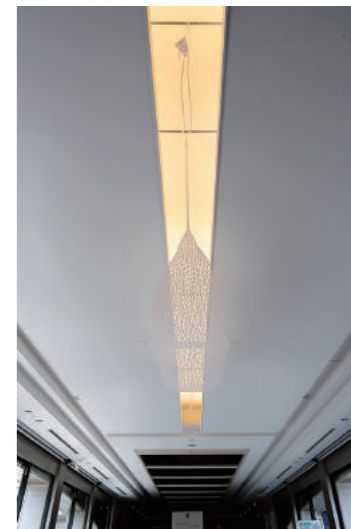
この絵では、春菜摘みに出た乙女が桜の下で憩っていたところ、聞こえてきた人の声にふと顔を上げた瞬間を描きました。女性の優美な曲線を、ナイフによって切り出されるシャープな線でいかに表現するかということに心を砕きました。

掛軸の仕立てにも工夫をこらし、切り絵の特性を活かしてごく薄い和紙で裏打ちし、背景が透けて見えるようになっています。

春をイメージした裂の配色、軸先の細部のデザインにもご注目ください。

Voice

切り絵、合成紙



あるときは物と物を結び繋ぐ役割を果たし、横に張れば境界として断つものになる「縄」。奥明日香でカンジョウ掛けの縄を撚る手振りを実際に見せていただいたことがとても印象的でした。この作品では、右撚り、左撚りの縄が絡み合いながら最後は一本に集約され、また続いていく様子をモチーフにしています。始まりも終わりもない長い時の物語、「声」の象徴として一枚の紙に刻みました。



左から：〈森の景 習作〉、〈森の景〉

日本画

烏頭尾 精

UTOO Sei

1932年明日香村生まれ。京都市立美術大学卒業。1959年新制作展新作家賞、以後2回受賞。1960年奈良県文化賞。1992年日本経済新聞社「現代日本画俊英烏頭尾精」東京・名古屋・京都開催。京都日本画秀作展優秀賞、京都市芸術功労賞、地域文化功労者表彰など受賞。現在、創画会会員、京都教育大学名誉教授、京都日本画家協会顧問。



左から：〈花のあとⅡ〉、〈花のあとⅠ〉

日本画

烏頭尾 忠子

UTOO Tadako

1936年奈良県御所市生まれ。京都女子大学卒業。奈良教育大学附属幼稚園退官後、大阪教育大学、奈良教育大学、奈良文化女子短期大学にて非常勤講師を務める。奈良県展にて県展賞、知事賞、文部大臣奨励賞を受賞。近鉄奈良店美術画廊にて個展(他10回)。絵本(共著)、画集等出版。現在、奈良県美術人協会会員、奈良県展招待作家。



左から：〈 陵の辺に明日香風 〉、〈 星辰の京 〉

日本画

東 紀子

HIGASHI Noriko

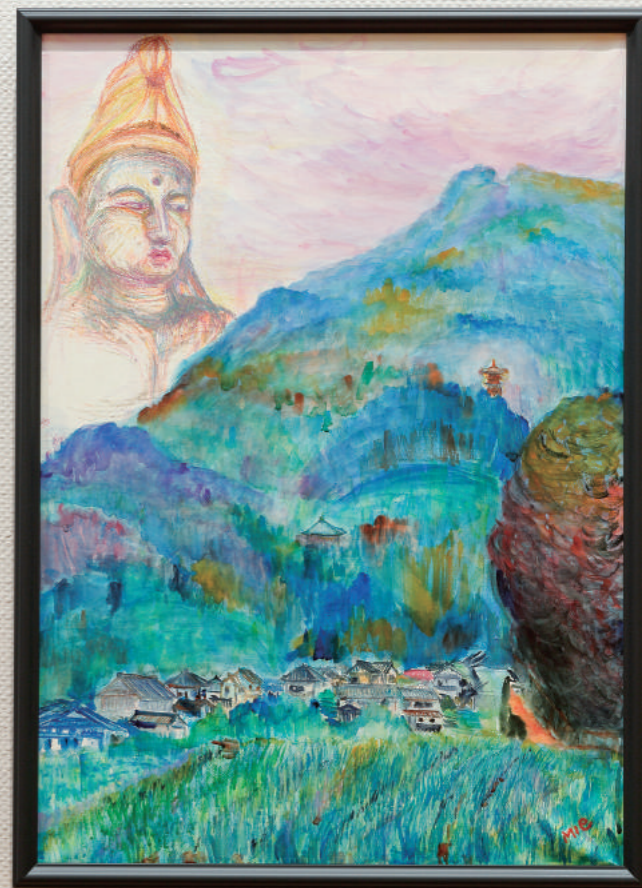
1957年明日香村生まれ。明日香村在住。1979年大阪芸術大学芸術学部美術学科日本画ゼミ卒。1977年～1979年京都アンデパンダン展出品。1980年女の子の新人展(番画廊・大阪)出品。1981年吉原治良賞美術コンクール(大阪現代美術センター)出品。個展(大阪・京都)多数。

洋画

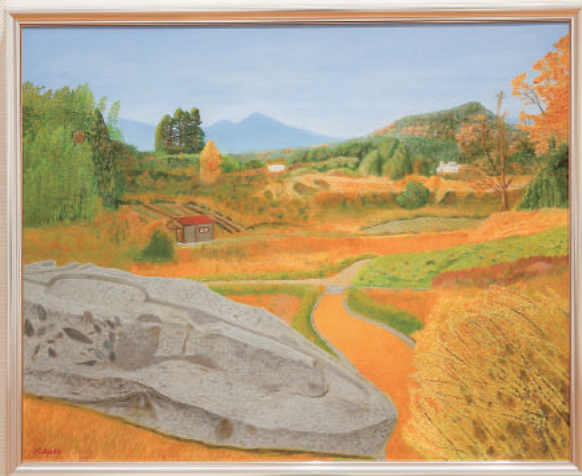
生駒 三恵

IKOMA Mie

1967年和歌山県紀の川市生まれ。1992年より明日香村在住。奈良芸術短期大学建築・インテリアコースを経て、透明水彩とクレパスを使って、風景スケッチの中に空想の世界がある作品づくりを行う。2011年日本表現派関西支部展入賞。



〈 青いあすか 〉



洋画

勝川 喜昭

KATSUKAWA Kisho

1938年明日香村生まれ。2002年明日香郵便局長退任。2001年～2011年明日香村伝承芸能保存会長。2009年～2018年新協美術会奈良・大阪支部展に各年入選。2010年～新協美術展(東京都美術館他)に入選8回。2012年新人努力賞、新協美術会友推挙。2016年・2018年新協美術会奈良支部展にて奈良市長賞。現在、明日香村文化協会、明日香村伝承芸能保存会、公民館絵画クラブに所属。



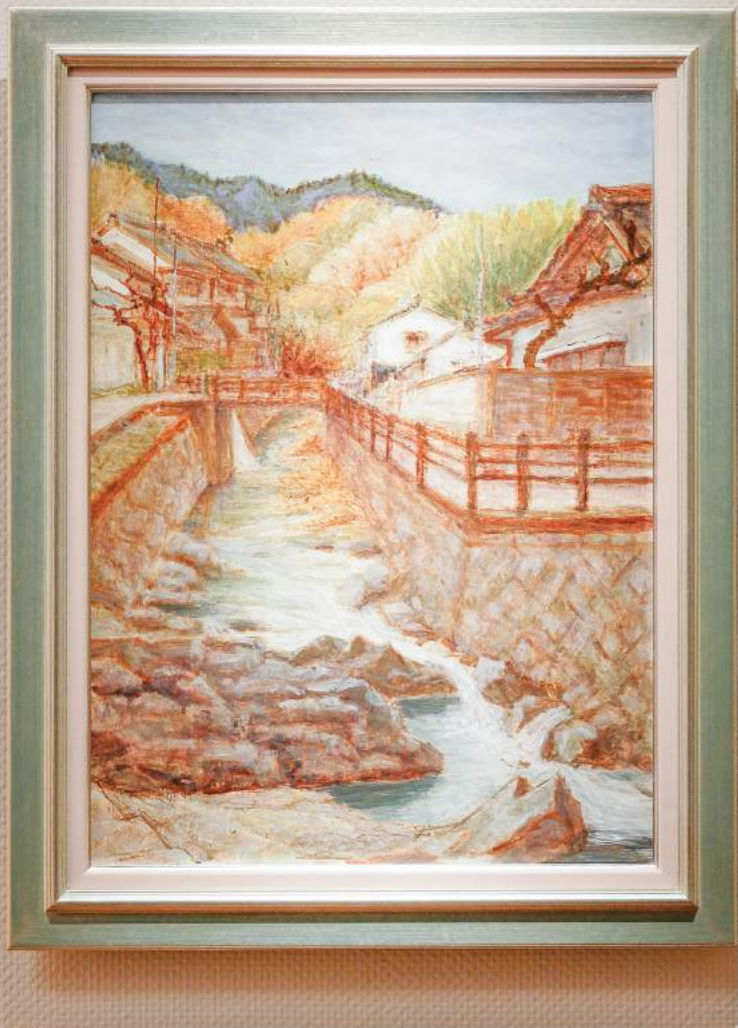
洋画

勝川 京子

KATSUKAWA Kyoko

1938年兵庫県姫路市生まれ。1961年大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業。2009年～2018年新協美術会奈良・大阪各支部展に各年入選。2010年～2018年新協美術展(東京都美術館他)に各年入選。2014年奈良新協美術努力賞、新協美術協会友推挙。2018年新協奈良奨励賞。現在、明日香村文化協会、明日香村伝承芸能保存会、公民館絵画クラブ、コーラス明日香風に所属。

〈明日香の風景〉



洋画

川本 恵

KAWAMOTO Megumi

1938年奈良県大和高田市生まれ。1961年奈良学芸大学芸術科(現:奈良教育大学)卒業。以後1992年まで葛城市白鳳中学校に勤務し、退職。在職中、数年間奈良県図工・美術科指導員。1960年高田洋画会賞。1962年県展入賞、高田市美術展市展賞、研水会展入選。退職後、奈良県美育懇話会に参加し、作品展に出品。

〈風景〉



洋画

中島 忍

NAKAJIMA Shinobu

1975年島根県生まれ。2009年より明日香村在住。学生時代より油絵を始める。1999年、2000年昭和美術会展、2001年伊吹を描く展覧会、2009年飛鳥スケッチコンクール入選。毎年、グループ展を開催。

〈橘寺如意輪観音菩薩像〉



〈雨こい踊り〉

木版画

上田 孝文

UEDA Takafumi

1948年奈良県下市町生まれ。1980年より明日香村在住。2008年学校教員を退職し、版画家・清田雄司氏に師事し、創作活動始める。奈良県美術展覧会や奈良県高齢者展、教職員展等に出展し入選・入賞する。現在、各地に赴いて写生をしたり、物を見つめて描いたりすることを楽しみに木版画を制作。



〈夕景〉



〈明日香風〉



〈石舞台古墳図〉

詩書画

渡会 美枝子

WATARAI Mieko

1969年東京都生まれ。1987年ロンドン大学英文学コース修学。帰国後筆墨の手ほどきを岡田紀子氏に、書画を絵手紙創始者小池邦夫氏、恭子氏に師事。2004年、2011年熊谷守一美術館ギャラリー「詩書画展」発表。2012年広島三越で個展。2013年より明日香村在住。2014年、2016年近鉄上本町店他、個展開催。



左から:〈往日〉、〈昔日〉

陶芸

木野村 由比子

KINOMURA Yuiko

1946年愛媛県新居浜市生まれ。北葛城郡河合町在住。1984年より脇田宗孝氏に陶芸を学び、1997年自宅に「炫窯」を築窯。奈良県美術展覧会工芸の部、彫刻の部に出品を重ねる。2013年スペース・パナクティ(平群町)にて個展を開催。



〈木野村由比子〉

陶芸

鈴木 乃り子

SUZUKI Noriko

東京都生まれ。北葛城郡河合町在住。脇田宗孝氏に師事。2005年より毎年、奈良県美術展覧会に出品し、2010年、2011年県展賞受賞、2012年～招待出品。2006年明日香村文化協会入会。2010年明日香村美術展出品、明日香村古代ガラス復元活動に参加。



〈おもてなし〉



〈とっておきの場所〉

陶芸

谷口 美佐子

TANIGUCHI Misako

1947年奈良市生まれ。1984年ロマンドール講師資格認定。橿原市八木西口駅前にて教室開講。1988年～1998年橿原市公民館にて教室開講、以降OB会として8年間実施。橿原文化会館にて作品展開催。橿原市内の幼小中学校にて講習開催。講師育成にも尽力。梅田阪急、西宮阪急、阪神百貨店にて即売会開催。橿原市展にて各賞受賞。ロマンドール師範、アーティスト、ジュエリー講師。



左から〈卑弥呼の華からくさ〉、〈卑弥呼の華あらし(朱・箒)〉

陶芸

脇田 宗孝

WAKITA Munetaka

1942年生まれ。タイルデザイナーを経て、祖父の地・明日香村に「飛鳥赫窯」を開窯。個展(近鉄百貨店・アベノハルカス開店記念展など)、公募展に出品・受賞。また、古代窯業(巨大埴輪・奈良三彩・埴仏・古代ガラス玉など)の研究論文・復元製作をおこなう。著書に「世界やきもの紀行」・「陶彩追憶」・「陶の語り部」。京都市立芸術大学非常勤講師・放送大学客員教授を経て、現在、奈良教育大学名誉教授。



〈愛でたきもの〉

ガラス造形

小田 珠生

ODA Tamao

1971年千葉県生まれ。1992年多摩美術大学入学。1996年富山ガラス造形研究所(富山県)入学。1997~2002年なないろKAN硝子工房(富山県朝日町)にスタッフとして勤務。2008年より明日香村在住。2009年夫と自家焙煎珈琲店、珈琲「さんぼ」(明日香村・岡)を開店。2014年珈琲店の隣に個人工房、硝子工房「さんぼ」をオープン。



〈テーブルランプ〉



〈植物紋の器〉

ガラス造形

高橋 直樹

TAKAHASHI Nawoki

1951年東京都生まれ。日本大学理工学部卒業。10年間岩津硝子桜井工場にて吹きガラス職人として勤務。1983年より明日香村在住(明日香むらの吹きガラス工房立ち上げ)。1984年東急ハンズ大賞デザイン賞、1985年世界ガラス会議コンテスト第3位入賞、西部アトリエヌポー・コンパ西武美術館長賞他を受賞。フランス、ドイツ、アメリカ、中国他、毎年全国各地で個展を開催。



〈里山茶房〉

ガラス造形

安田 麻里

YASUDA Mari

1957年生まれ。京都市立芸術大学大学院彫刻科修了。現代彫刻の制作活動後、ガラスを主な素材として制作を始める。1992年明日香村に工房「MARIGLASS」を設立。「国際ガラス展金沢」、「日本現代ガラス展」、「日本のガラス展」等に出品。現在、自宅工房とリサイクル館かしはらで教室を主宰。日本ガラス工芸協会会員。



左から:〈能面(小牛尉)〉、〈能面(小面)〉

面彫

島田 清

SHIMADA Kiyoshi

1944年明日香村生まれ。建築業を営むかたわら、1975年おもての会入会。北澤三次郎氏のもとで、能面打ちを始める。1976年大阪芸術センター主催の作品展に出品。1985年おもての会を退会。2010年京都市芸術館「能面展」、2012年奈良文化会館「能面展」に出品。2014年東京国立博物館「飛鳥—キトラ2016—」に天狗面、お多福面を出品。



左から〈テナーウクレレ U23W〉、〈アコースティックギター 151FC〉

ギター製作

折坂 諭

ORISAKA Satoshi

1967年兵庫県生まれ。関西学院大学文学部卒業、神戸大学経済学研究科中退。楽器商社で主に企画業務に携わる。2012年より明日香村在住。ギター・ウクレレ製作工房「明日香弦楽器」を設立。手作りの製作技法を基本に、飛鳥・天平期の美術を取り込んだ楽器を作り出している。



〈聖なる人々〉

彫刻

岡橋 久代

OKAHASHI Hisayo

脇田宗孝、中川賀照の両氏に師事。
明日香村文化協会会員。



〈和む〉



〈幽玄〉

写真

上田 由美子

UEDA Yumiko

1947年和歌山県生まれ。1972年結婚を機に奈良県に移り、小学校教諭として勤務。1980年より明日香村在住。退職後写真に興味を持ち、明日香に残る原風景や伝統行事などを撮影する。「明日香路を写そう写真コンクール」入選、「教職員展写真の部」等で入賞。



左から〈静寂〉、〈瞬刻〉

写真

上山 好庸

UEYAMA Yoshinobu

1950年明日香村生まれ。奈良新聞社を経て1986年フリーランスに。出版社等の取材撮影を行う傍ら、ライフワークとして大和路、主に飛鳥の撮影を続ける。著書に「万葉・明日香路」(光村推古書院)、別冊・太陽「飛鳥」(平凡社)など。近鉄文化サロン奈良講師、(公社)日本写真家協会(JPS)会員。



《未来永永》

写真

梅田 耕吉

UMEDA Kokichi

1934年奈良県下市町生まれ。奈良学芸大学（現：奈良教育大学）卒業後、小学校教諭となる。在職中、視聴覚教育・放送教育の研究に携わり、文部大臣賞、県教育選奨を受賞。1993年より明日香村在住。現在に至る。「奈良県高齢者写真コンクール」、「明日香路を写そう写真コンクール」等で入賞多数。2007年奈良市写真美術館にて個展「吉野川・千石橋」を開催。現在、明日香村文化協会代表理事。



《夕照》

写真

岡本 路子

OKAMOTO Michiko

1947年生まれ。京都衣笠で育ち、奈良へ転居。1972年より明日香村在住。石舞台、明日香川の四季の詩（うた）を撮り続けている。第26回「明日香路を写そう写真コンクール」に「凋落」（ちょうらく）で特選、同コンクール入選4回。天理写真展で長岳寺貫主賞受賞。現在、明日香村文化協会常任理事。



〈真神原夕照〉



〈悠久の飛鳥〉

写真

白水 泉

SHIROUZU Izumi

1952年生まれ。明日香村在住。2003年～2006年「道の日フォトコンテスト」入選、2007年福岡県知事賞、2010年「太宰府古都の光写真コンテスト」太宰府市賞、2011年太宰府観光協会賞、2014年・2015年・2017年「竹内街道・横大路デジタルフォトコンテスト」入選、2016年・2017年「明日香路を写そう写真コンクール」入選、2015年～2017年「国営飛鳥歴史公園ハガキフォトコンテスト」最優秀賞など多数受賞。



〈飛鳥景〉



〈戦い終えて〉

写真

森本 富雄

MORIMOTO Tomio

1944年大阪府大阪市生まれ。1968年より明日香村在住。1978年写真家・入江泰吉氏に師事。朝日新聞社国際写真サロン、奈良県展、オリエンタルスポーツ写真、三菱月光、富士フィルム、ニコン等で多数受賞。奈良県文化会館「日記帳」、大阪ミノルタ「飛鳥夢幻」、ニコンサロンbis大阪「私景飛鳥」「水都大阪・今」、大阪府近つ飛鳥博物館「遠つ飛鳥」等の写真展を開催。



左から：〈光跡〉、〈幽玄〉

写真

柳 敏明

YANAGI Toshiaki

1949年奈良県下市町生まれ。1981年より明日香村在住。2002年「明日香路を写そう写真コンクール」入賞以来、5年連続入賞等。2013年、2014年同コンクールで明日香路賞を2年連続で受賞。その他、全日本写真連盟「なら写真展」入選、「全日本動物写真コンテスト」入選など受賞多数。全日本写真連盟奈良県本部委員。



〈今〉

書

稲垣 小燕

INAGAKI Shoan

1947年大阪府生まれ。1966年川崎白雲氏に師事。毎日書道展大字書部毎日賞、書道芸術院漢字部準大賞など多数受賞。心齋橋豊田ビルイベントフロアにおいて個展を開催。現在、毎日書道展大字書部審査会員、(公財)書道芸術院理事、玄遠社副会長、(公社)全日本書道連盟正会員、燕京書道交流会副理事長、高野山書道協会参与、明日香村文化協会常任理事、(一社団)小燕会理事長。



〈白龍雲〉

書

垣内 飛翠

KAITO Hisui

1922年明日香村生まれ。1942年奈良県女子師範学校(現:奈良教育大学)卒業。国貞寿翠氏、福中悠光氏、米田玉泉氏に師事。1976年より書道講師を務める。1985年「日本の書展」出品(以降6回)、1990年、1994年「韓日書芸招待展」出品、個展3回、書道クラブ展3回実施。1975年より関西大学「飛鳥史学文学講座」のテーマの揮毫を36年間務め、2012年1月関西大学より感謝状が授与される。現在、明日香村文化協会名誉会員。



〈十二支肖生印〉

書(篆刻)

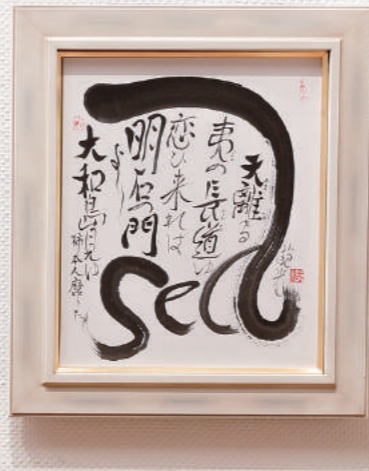
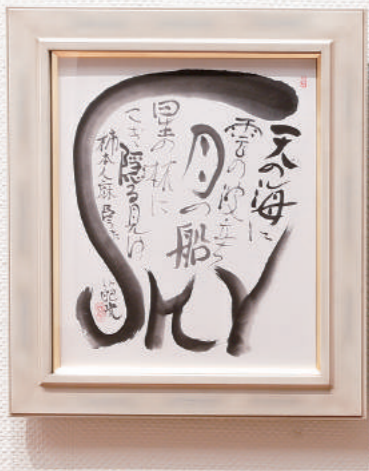
境山 正甫

KYOUYAMA Masamoto

1940年橿原市生まれ。1963年奈良教育大学卒業後、奈良県の公立学校の教員となる。2001年退職後、香芝市教育委員会学校教育課指導主事を務める。2003年篆刻家喜多芳邑氏に師事し、篆刻をはじめ、日本篆刻家協会委員、日本書芸院一科員、明日香村文化協会顧問。



〈飛龍来雲〉



〈空海〉

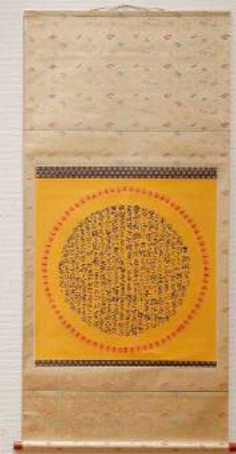
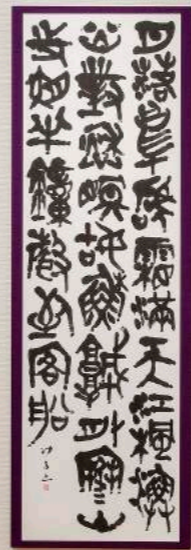
書

鈴木 葩光

SUZUKI Hakou

1939年大阪府生まれ。橋本芳邨氏、藤岡九波氏に師事。日本書芸院、日展、毎日展などで多数受賞。1971年丸善美術にて作品を常設、フリー万葉作家となる。二人展(京都・橋屋ギャラリー)、日本の秀作美術展(ニューヨーク)、日仏美術展、書家50周年・60周年記念個展「飛鳥とともに」(関西大学)など次々と作品を発表。これまで茨城大学、奈良芸術短期大学で非常勤講師を務める。

中井 功子



書

中井 功子

NAKAI Noriko

1955年明日香村生まれ。西橋香峰氏、池田毓仁氏に師事。日本書芸院・二科審査員。読売書法展・会友。2013年「奈良県美術展覧会」にて奈良県議会議長賞を受賞。

左から…〈張継の詩〉〈般若心経〉



〈残照〉



〈月仄か〉

紙画

中川 愛子

NAKAGAWA Aiko

1932年大和高田市生まれ。1984年万葉紙画集を出版。1986年NHKのテレビ番組「紙画で画く大和」で作品が紹介される。1986年「万葉紙画集原画展」（橿原文化会館）、1990年「秋の秀作美術展」（ニューヨーク）に出展。1991年「ミレー展」（フランス）にてフォンテーヌ・ブロー市長賞受賞。その他、仏・伊・米・韓・台等にて受賞多数。現在、ミレー友好協会日本支局委員、まほろば紙画教室を主宰。



「飛鳥・音の風景」

明日香村中央公民館 1階ホール



2018.1.21 [SUN]



「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会 実行委員
「飛鳥・音の風景」プロデューサー

バリトン

松岡 剛宏

MATSUOKA Yoshihiro

大阪音楽大学声楽専攻卒業後、関西歌劇団に入団。その後渡米し、C.Aks氏のもとで研鑽を積む。帰国後、「椿姫」「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「賢い女」など、数々のオペラに出演。2002年、R・コルサコフ国際声楽コンクールにて「聴衆特別賞」「ベストロマンスシンガー賞」など4つの賞を受賞。2007年チャイコフスキー国際音楽コンクールの声楽部門にて日本人男性唯一の予選通過者となる。関西学院高等部講師を経て、現在、大阪音楽大学演奏員。明日香村在住。



進行・演出

藪川 直子

YABUKAWA Naoko

大阪音楽大学器楽学部ピアノ科卒業後、同大学専攻科声楽学科演出修了。在学中に中村敬一・井原広樹両氏、故芦田鉄雄氏に師事。専攻科修了後、関西を中心にオペラの演出を行う。灘区民ホール・関西二期会共同オペラ「愛の妙薬」「蝶々夫人」「魔笛」、名古屋二期会室内オペラ、関西歌劇団コンチエルトベラ「愛の妙薬」・スプリングオペラ「修道女アンジェリカ」・第99回定期公演「赤い陣羽織」（原演出：武智鉄二）、「白狐の湯」など。平成24年度伊丹市芸術家協会新人賞受賞。





ソプラノ

木澤 佐江子

KIZAWA Saeko

相愛大学音楽学部声楽学科卒業、同大学研究科修了。第24回イタリア声楽コンクール入選、第6回和歌山音楽コンクール一般の部第2位、第7回日本の歌コンクール審査委員長賞を受賞。オペラでは「フィガロの結婚」「魔笛」「カルメン」「ノルマ」他多数出演し、「マノン・レスコー」ではタイトルロールを演じ好評を得る。「第九」「メサイア」「マタイ受難曲」などのソリストとしても定評がある。宝塚音楽学校、相愛高校及び相愛大学講師、関西二期会会員。



アルト

橘 知加子

TACHIBANA Chikako

大阪音楽大学大学院オペラ研究室修了。オペラ「カルメン」「ボッペアの戴冠」「ジュリアス・シーザー」「カプレーティとモンテッキ」「コジ・ファン・トゥッテ」「外套」「マリア・ストゥアルダ」「カヴァレリア・ルスティカーナ」等、多数のオペラに出演。昨年セスト役で出演した「皇帝ティートの慈悲」は大阪文化祭賞奨励賞を受賞。その他、宗教曲や「第九」のソリストとしても活躍。第34回なにわ芸術祭新人奨励賞受賞。関西歌劇団理事。





テノール

小餅谷 哲男

KOMOCHIYA Tetsuo

大阪音楽大学大学院修了。ヴェルディ音楽院、アカデミア・ヴェルディアーナで故ベルゴンツィ氏のもと研鑽。約80のオペラ公演に主演。「沈黙」(文化庁芸術祭大賞)のロドリゴを演じて以降「イドメネオ」「フィデリオ」「ピーター・グライツ」(三菱UFJ信託音楽賞)演技色の濃い役柄を演じる。第25回イタリア声楽コンクールソテノール特賞。桃山学院教育大学准教授、大阪音楽大学講師、関西歌曲研究会理事、関西二期会研修所所長、関西二期会理事。



ピアニスト

殿護 弘美

TONOMORI Hiromi

大阪音楽大学音楽学部器楽科卒業。同大学学部専攻科修了。第26回堺新人演奏会他多数出演。第9回堺ピアノコンクール奨励賞受賞。関西二期会、関西歌劇団等その他関西圏の多数のプロダクションでコレペティとして参加。2011年12月にイタリアのカットーリカにて Daniele Agiman氏指揮、Lenato Bruson氏演出のオペラ《Falstaff》公演にコレペティールとして参加。ミラノスカラ座コレペティールのDante Mazzora氏に師事。大阪音楽大学演奏員。宝塚音楽学校講師。





指揮

安野 英之

YASUNO Hideyuki

京都市立芸術大学音楽学部卒業後、同大学大学院修士課程修了。チェロを岩谷雄太郎氏、上村昇氏に師事。指揮法を齊田好男氏に師事。現在、天理シティーオーケストラ常任指揮者、天理教音楽研究会講師、奈良県立高円高校音楽科非常勤講師、天理市音楽芸術協会理事。これまでに天理シティーオーケストラ、天理教音楽研究会オーケストラ・合唱団、高円高校音楽科オーケストラ・合唱団、奈良オーケストラフェスティバルでの合同オーケストラ等を指揮しいずれも好評を博した。2010年からは天理市主催「大人のためのおもしろ音楽講座」の講師を務めるなど、市民に音楽を広める活動にも力を入れている。2011年11月、天理シティーオーケストラにおける長年の功績が認められ、天理市より教育表彰された。



管弦楽

天理シティーオーケストラ

Tenri City Orchestra

天理市を拠点とするアマチュアオーケストラとして2001年に創設。現在では、関西の広域から約40名の団員が集まり、定期演奏会や年末の第九コンサートの他、未就学児童とその保護者のためのキッズコンサートや県内小学校への訪問演奏も精力的に行っている。創設時より安野英之氏および弦楽器トレーナーの指導により、市民オーケストラとして目覚ましい発展を遂げている。

プログラム

開演前/13:30～ 楽器体験コーナー

《第1部》 『オペラってなあに?』

オペラの演奏を鑑賞しながら、演出家・簾川直子氏による「なるほど講座」

簾川 直子（進行・演出） / 木澤 佐江子（ソプラノ） / 橘 知加子（アルト）
小餅谷 哲男（テノール） / 松岡 剛宏（バリトン） / 殿護 弘美（ピアニスト）

《第2部》 『みんなで気軽にクラシック』

指揮:安野 英之 / 管弦楽:天理シティーオーケストラ

- ♪ 歌劇「カルメン」より“トレアドール”（ビゼー）
- ♪ 歌劇「カルメン」より“アラゴネーズ”（ビゼー）
- ♪ 喜歌劇「こうもり」序曲（ヨハン・シュトラウスII）
- ♪ 雷鳴と電光（ヨハン・シュトラウスII）
- ♪ 舞踏会の美女（アンダーソン）
- ♪ サンドペーパー・バレエ（アンダーソン）
- ♪ セレナータ（アンダーソン）

● 指揮者体験コーナー

～♪ 『カルメン』前奏曲を使って～

- ♪ パイレーツ・オブ・カリビアン（パデルト）

● 会場みんなで合唱

～♪ ふるさと（岡野 貞一）～



メディア掲載

平成29年11月23日(木) 産経新聞



平成30年3月3日(土) 産経新聞



広報ツールのデザイン



飛鳥アートヴィレッジ 募集



飛鳥アートヴィレッジ 展覧会



「明日香の匠」展



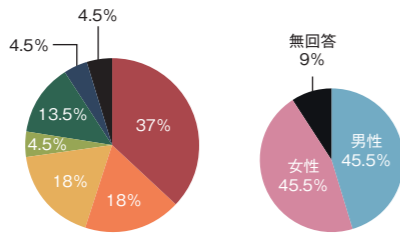
「飛鳥・音の風景」

「飛鳥アートヴィレッジ」に関するアンケート

(対象者:「飛鳥アートヴィレッジ」来場者 612 人/回答者 = 22 人)

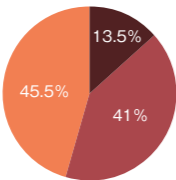
問 1: 年代と性別をお聞かせ下さい。

10代	0人
20代	8人
30代	4人
40代	4人
50代	1人
60代	3人
70代	1人
80代以上	0人
無回答	1人



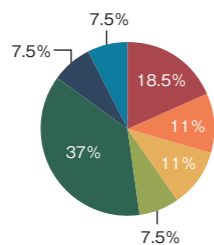
問 2: どこから来られましたか?

村内	3人
村外	9人
県外	10人



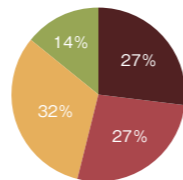
問 3: 当展覧会を何で知りましたか? (複数回答あり)

マスコミ	0人
出品作家から	5人
友人・知人から	3人
明日香村広報誌	3人
明日香村 HP	2人
ポスター・チラシ	10人
インターネット	2人
その他	2人



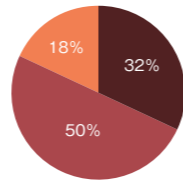
問 4: 来場理由について教えてください。(複数回答あり)

現代アートに関心がある	6人
友人・知人が出展	6人
友人・知人に誘われて	0人
偶然	7人
その他	3人



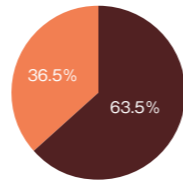
問 5: 当展覧会の満足度は?

大変満足	7人
満足	11人
普通	4人
あまり良くなかった	0人
良くなかった	0人



問 6: 次回も来場したいですか?

来場する	14人
来場しない	0人
わからない	8人

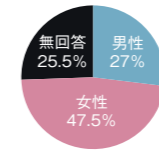
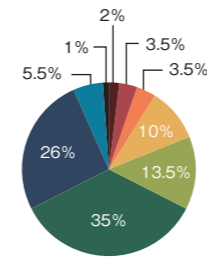


「『明日香の匠』展」に関するアンケート

(対象者:「明日香の匠展」来場者 1,740 人/回答者 = 391 人)

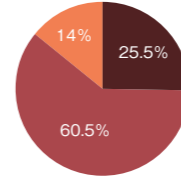
問 1: 年代と性別をお聞かせ下さい。

10代	8人
20代	13人
30代	14人
40代	39人
50代	53人
60代	136人
70代	102人
80代以上	21人
無回答	5人



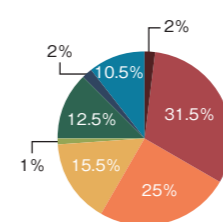
問 2: どこから来られましたか?

村内	100人
村外	237人
県外	54人



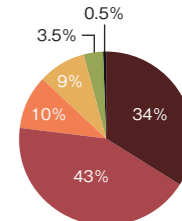
問 3: 当展覧会を何で知りましたか? (複数回答あり)

マスコミ	9人
出品作家から	136人
友人・知人から	108人
明日香村広報誌	68人
明日香村 HP	3人
ポスター・チラシ	53人
インターネット	8人
その他	46人



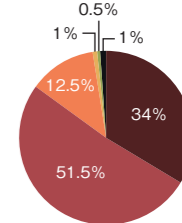
問 4: 来場理由について教えてください。(複数回答あり)

美術に関心がある	163人
友人・知人が出展	206人
友人・知人に誘われて	49人
偶然	43人
その他	16人
無回答	3人



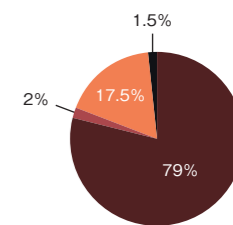
問 5: 当展覧会における満足度は?

大変満足	133人
満足	201人
普通	48人
あまり良くなかった	4人
良くなかった	2人
無回答	3人



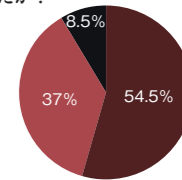
問 6: 次回も来場したいですか?

来場する	309人
来場しない	9人
わからない	68人
無回答	5人



問 7: 明日香で作家が創作活動をしているのをご存知でしたか?

知っていた	213人
知らなかった	144人
無回答	34人

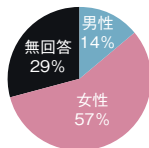
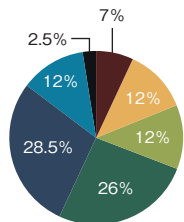


「飛鳥・音の風景」に関するアンケート

(対象者:「飛鳥・音の風景」来場者 220 人/回答者 = 42 人)

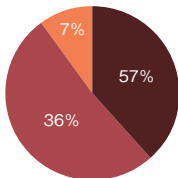
問 1 : 年代と性別をお聞かせ下さい。

10代	3人
20代	0人
30代	0人
40代	5人
50代	5人
60代	11人
70代	12人
80代以上	5人
無回答	1人



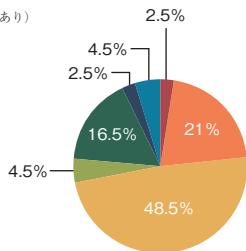
問 2 : どこから来られましたか？

村内	24人
村外	15人
県外	3人



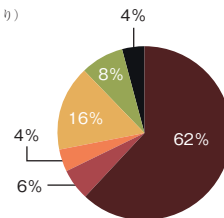
問 3 : 当コンサートを何で知りましたか？ (複数回答あり)

マスコミ	0人
出演者から	1人
友人・知人から	9人
明日香村広報誌	21人
明日香村 HP	2人
ポスター・チラシ	7人
インターネット	1人
その他	2人



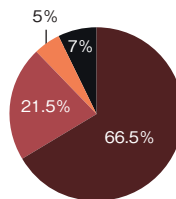
問 4 : 来場理由について教えてください。(複数回答あり)

クラシックが好き	30人
選曲が良い	3人
友人が出演	2人
友人・知人に誘われて	8人
その他	4人
無回答	2人



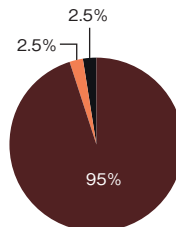
問 5 : 当コンサートにおける満足度は？

大変満足	28人
満足	9人
普通	2人
あまり良くなかった	0人
良くなかった	0人
無回答	3人



問 6 : 次回も来場したいですか？

来場する	40人
来場しない	0人
わからない	1人
無回答	1人



問 7 : 今後のコンサートでの希望ジャンルをお聞かせ下さい。(複数回答あり)

クラシック	30人
ジャズ	15人
ブルース	2人
ポップス	4人
歌謡曲・演歌	3人
童謡	6人
ワールドミュージック	2人
アニメ	3人
映画音楽	18人
無回答	4人

「Creative飛鳥・未来への風プロジェクト」2017年度 実施報告書

発行日：2018年3月

編集・制作：株式会社 企画・創

写真撮影：三國 賢一

発行：「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会

〒634-0141 奈良県高市郡明日香村川原91-1(明日香村教育委員会内)

TEL: 0744-54-3636 FAX: 0744-54-4647

この事業は、明日香村の歴史的風土保存にご尽力頂いた
故・寺尾勇氏の妻、寺尾栄氏からの寄附金を活用して実施しました。